

ほすびたる

冬号第2号

2004.2

年頭所感

新年あけましておめでとうございます



公立豊岡病院組合 管理者 中 貝 宗 治

但馬は、気象の博物館です。晴れていたと思ったら曇りになって、雨になって、みぞれになって、あられになって、やがて雪に変わったかと思ったらまた晴れて、空にくっきりと虹が架かっている。「晴れなのか雨なのか白黒はっきりしろ！」と言いたくなるころですが、但馬人は「晴れも素敵、雨も素敵、雪も素敵」と複雑さを受け入れてきました。同様に、病院経営の様々な難問を前にしてもかんしゃくを起こすことなく、悠然と冷静に対処していきたいものだと思います。

昨年12月、豊岡病院の円形ホールでクリスマスコンサートが開かれました。プロのジャズピアニストの演奏と看護師らによる「豊岡病院音楽隊」のハンドベルの演奏で、あたかも「円形劇場」が出現したかのように見えました。このさやかな試みは、病院が人と機械とが出会うところではなく、人と人とが出会うところであることを改めて感じさせました。5つの病院が、さらにやさしさとおもいやりで満ちた場所になることを強く願った次第です。今年もその実現に向けて、職員一丸となって努力してまいりますので、ご支援のほどよろしく申し上げます。

今年1年が皆様にとってすばらしい年になりますように。

豊岡病院 クリスマスコンサート



年頭のごあいさつ

公立豊岡病院組合議会 議長 古谷 修一



私たちは皆、健康で、安心・安全・安らぎのある人生を望んでいます。少子高齢化が急速に進展する中、医療保険制度等様々な法・制度の改革が進み、地域住民の皆様の多様な医療ニーズへの対応が求められ、さらに構成自治体では、市町合併協議が進行し、病院経営にも大きな変革が求められています。

これらの重要課題を解決するためには、病院組合・病院当局と、構成1市9町の議会選出の22名の議員で構成する病院組合議会が、車の両輪となって対処していく必要があります。この広報紙「ほすびたる」による情報発信と皆様からのご意見を期待し、議会として努力していく決意であります。

2004年、皆様の益々の飛躍発展を祈念し年頭のご挨拶といたします。



特集
医局だより

骨粗鬆症

和田山病院整形外科

今回から、骨粗鬆症の病気について、何回かに分けてお話したいと思います。骨粗鬆症は、簡単に説明すれば数行の説明で可能ですし、詳しく述べると1冊の本になるぐらい奥の深い病態です。まずは、肩の力を抜いていただいて気軽に読んでください。

今から20年前は、この骨粗鬆症という病態は、あまり知られることもありませんでした。この難しい漢字を読める人や書ける人は非常に少ない状態でした。しかし、骨粗鬆症という言葉は、今や誰もが知っている国民的言葉となっています。これは、やはり国民の高齢化に伴う厚労省や医師会の啓蒙活動の影響と思いますが、マスコミの採り上げる回数が格段に増え、介護の問題や身近に骨折の人が増え、この病態が他人事ではなくなってきたことが大きな要因と思います。

ではもう一度、この漢字の読み方とその意味をみてみましょう。

【骨粗鬆症 こつそそうしょう】と読みます。

骨 いわゆる“ほね”ですね。

粗 よく使う“あらい”と言う意味ですね。

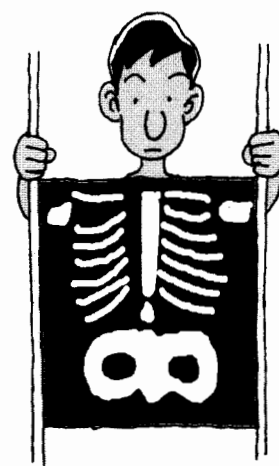
鬆 めったに見ない漢字ですが、漢和辞典には次のように記載されています。

“髪 of 乱れている様” “あらい・ゆるい・しまりがない様”

“大根・ゴボウなどの芯に細かく通る穴”

以上をつなぎ合わせると、

「骨が、あらくなくて、大根やゴボウの芯のように、骨に穴があく病気」となります。これをもっと簡単に言うと、「骨折の危険が高まった状態」と言えます。



WHO（世界保健機関）の定義もそれに沿ったものとなっています。

WHOの定義

- ①全身的な疾患で
- ②骨量の減少と構造の異常により骨の強度が減少し
- ③骨折の危険が高まった状態

となっています。

したがって、診断には、次のことが必要になります。

- ①から、その原因が年齢によるものか？ホルモン異常によるものか？薬によるものか？内科的疾患の影響によるものか？外科的手術の影響によるものか？検討しなければなりません。
- ②からは、骨の強度を計る必要性があり、骨密度の測定が行われています。骨が弱っている原因が、骨の吸収が高くなってきたためか？あるいは骨を作る力が弱くなってきたためか？が検査で分かるようになってきています。
- ③からは、骨折を予防するために、装具の使用、家の改装、そして、もし骨折した場合には、速やかに手術し、早期回復が勧められています。

また、骨粗鬆症の治療薬は急速に進歩しており、欧米の治療方針とほぼ同じようになりつつあります。現在の骨粗鬆症の治療の方針は、骨の状態をモニターして、必要ならば骨代謝を制御して、骨折の危険性を低下させることが中心となっています。

骨粗鬆症は、長い期間の末に症状が出現する疾患です。同じ骨粗鬆症でも、年代により骨折の危険性には高低があります。したがって、実際には骨粗鬆症と診断するだけでなく、時期に応じた治療が必要になってきます。

次回は、骨粗鬆症の診断に関して、最新の知見を交えながら、述べていきたいと思います。

[今回のまとめ]

骨粗鬆症

読み方：こつそしょう

病態：骨量が減少し、骨折の危険性が高まった状態

豊岡病院 クリスマスコンサート開催（表紙写真）

昨年12月13日、入院患者さまを励まし、音楽を楽しんでもらおうと、関西を中心に活躍中のジャズピアニスト中村葉子さんをお迎えして、「クリスマスコンサート」を開催しました。コンサート会場となった円形ホールには、車椅子で参加の患者さまなど約250人が集まり、職員有志によるハンドベルや中村さんのピアノ演奏に聴き入って、「癒しのひととき」をお過ごしいただきました。なじみのあるクリスマスソングが演奏されるとくちずさむ患者さまもおられ、一足早いクリスマスプレゼントにお喜びいただきました。

アンケート結果



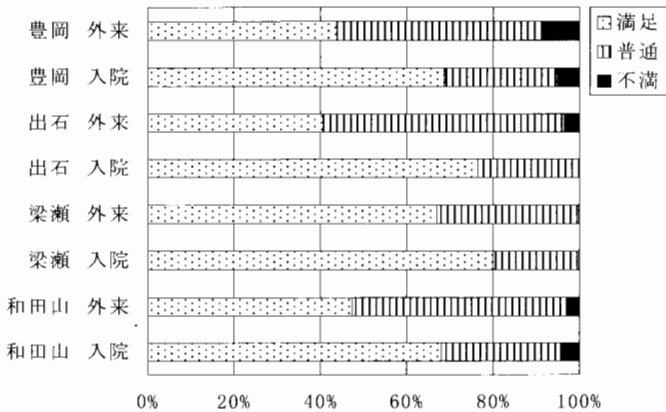
各病院では、患者さまの満足度やご意見等を把握し、今後より一層の医療サービスの充実にを図ることを目的に、患者さまを対象としたアンケートを実施しました。

その結果について、抜粋ではありますが報告いたします。なお、日高病院は現在集計中ですので、次号にて報告いたします。

▶グラフの見方

外来患者さまへのアンケート結果は外来、入院患者さまへのアンケート結果は入院の欄に記載しています。また、各項目の数値は、回答の合計数（無回答を除く）に対する百分率%を記載しています。

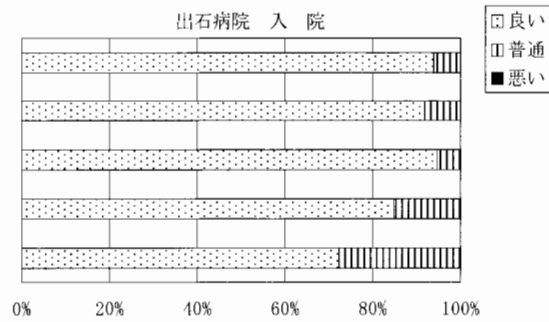
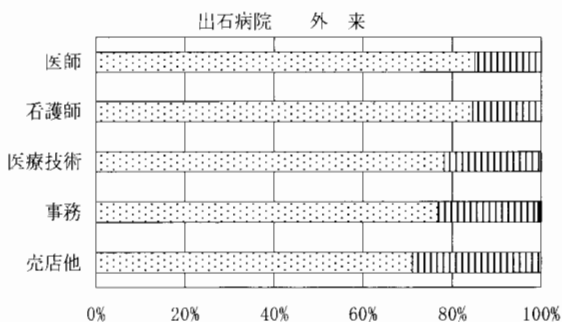
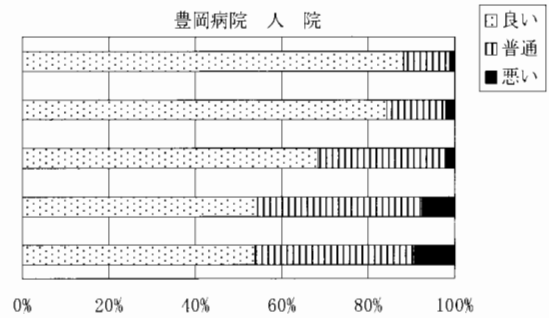
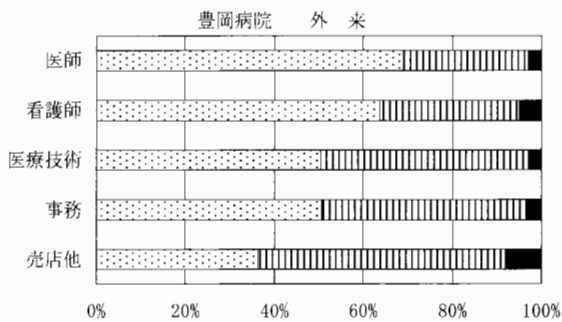
問. 受けている診療・治療内容に満足していますか？

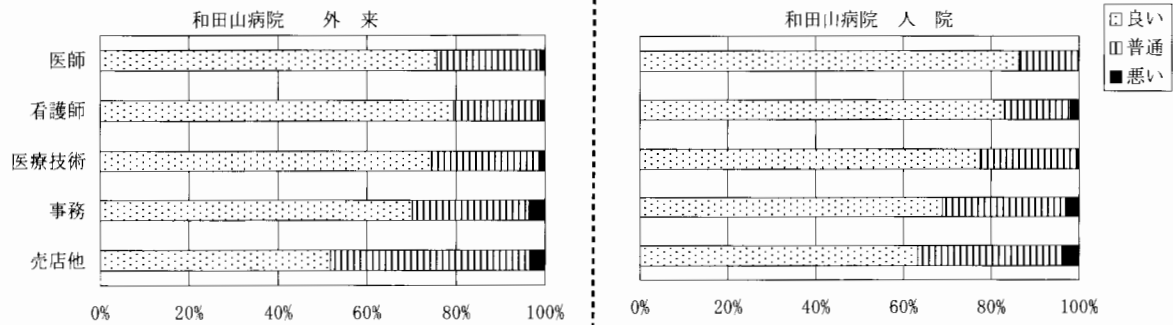
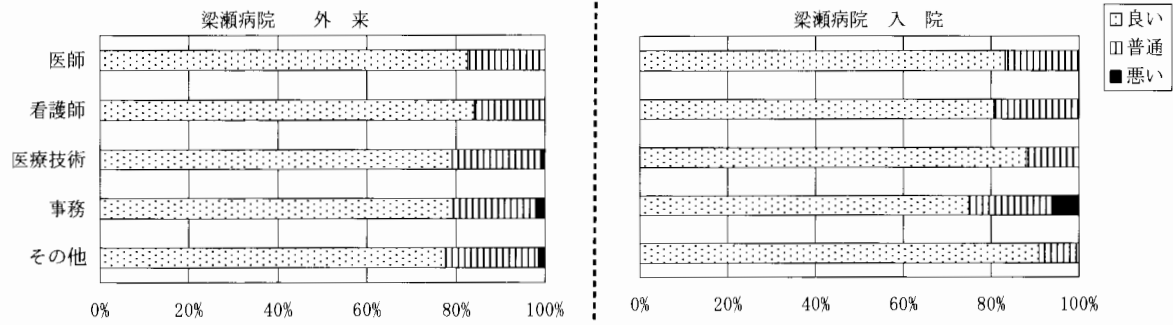


問. 待ち時間はいかがですか？

豊岡	満足	普通	不満
	12.6%	37.8%	49.6%
出石	早い	普通	遅い
	9.5%	68.5%	22.0%
梁瀬	短い	普通	長い
	5.2%	54.5%	40.3%
和田山	苦でない	少し負担	大変負担
	40.2%	53.8%	6.0%

問. 職員の言葉使いや態度はいかがですか？





主なご意見・ご要望

- 診療機能等 診療科の増設、専門医の定着、医師の異動が早いなどのご意見。
- 待ち時間等 待ち時間が長い、予約時間の励行などのご意見。
- 接遇・態度 患者の立場に立った対応・気配り・声かけをして欲しいなどのご意見。
- 施設・設備 駐車場が狭い（増設）、トイレの改善などのご意見。
- お礼・感謝 以前より良くなった、優しい、満足しているなどのお褒めの言葉。

《評 価》

「患者さま」という立場からか本音の意見が寄せられにくい傾向にありますが、全体的にみると、概ね良好な結果でした。しかし、「悪い・不満」の評価があること、その他のご意見についても真摯に受け止め、問題点や課題の改善に努めて、患者さまの満足度向上に努力してまいります。

職員の言葉使いや態度については、全体的に見て入院に比べて外来の方が悪く、医師や看護師に比べて事務・受付、売店・清掃等の職員に対しての悪い評価が多くあります。また、「良い人と悪い人の差が大きい」「職員によって違う」などのご意見があり、全職員のマナーの向上、レベルアップを図る必要があります。

待ち時間と駐車場については、前年度以前のアンケート結果に比べると、幾分改善しておりますが、まだ十分に改善された状況ではなく、多くの患者さまにご不便をかけております。

なお、各病院には、「意見箱」を設置しておりますので、病院の医療サービス向上のために皆様の率直なご意見・ご感想をお聞かせくださいますようお願いいたします。

最後になりましたがアンケートにご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。

くすりのはなし

豊岡病院薬剤部

「くさかんむりに楽しい」と書いて“薬”という字になります。それは大昔から草根木皮を薬として使っていたため、くさかんむりが付いたとも言われています。病気に薬を使用して“身体が楽になる、病気が治って楽しくなる”これでなければ薬とは言えません。自分の病気と薬の関係をきちんと理解し正しく使用して、はじめて薬は最大の効果を発揮します。

それでは薬とは何でしょうか？ 私たちの身体は興奮と抑制によってバランスを保っていますが、そのバランスが異常な状態になると病気として現れてきます。それを正しい状態に戻すために使うのが薬です。薬には、病気の原因に直接作用するもの（抗生物質など）、不快な症状を取り除くもの（解熱剤、咳止めなど）、あるいは身体に不足している成分を補うもの（ビタミンなど）と、その治療目的によって色々な薬があります。

主作用と副作用？ 薬の主作用とは病気に対して良い方へ働くもので、一方でその人が具合悪くなる方へ働くものが副作用です。しかし、治療では副作用を利用すること（眠くなる副作用を利用して睡眠薬として使用など）もあって、そうすると副作用が主作用になります。最近では、書店に薬に関する本がたくさんあって、情報が簡単に手に入るようになりました。その結果、「くすり通」になって、副作用を恐がりすぎて勝手に薬を飲まずに、治療が長引いたり、治る病気も治らない場合があります。医師は患者さま以上に副作用を気にして処方せんを書いているので、指示された用法や用量はきちんと守る必要があります。

医薬分業？ 患者さまの中には病院や診療所などを複数にわたって受診されて、同じ効果の薬をいろいろな所からもらえる場合もあります。また、薬同士で飲み合わせの悪いもの（相互作用）や、食べ物でも薬に影響を与えるものがあります。それらを早く見つけるために国の施策として医薬分業がスタートしています。医薬分業では「かかりつけ薬局」を持つことが大切になります。そこでは患者さま一人ひとりの薬を注意深く相互作用や副作用などについて管理や指導をしてくれます。豊岡病院でも院外処方せんを発行して、この医薬分業を推進しています。薬についてご不明な点やご質問がありましたら薬剤師にお気軽にお尋ねください。



院外処方せん発行病院

豊岡病院（一部）、日高病院、出石病院、梁瀬病院

公立豊岡病院	〒668-8501 豊岡市立野町6番35号 TEL0796-22-6111 E-mail : webmaster@hospital.toyooka.hyogo.jp URL : http://www.hospital.toyooka.hyogo.jp/
公立日高病院	〒669-5302 日高町岩中81番地 TEL0796-42-1611 E-mail : hidahpkn@hk.sun-ip.or.jp
公立出石病院	〒668-0263 出石町福住1300番地 TEL0796-52-2555 E-mail : izusi-hp@hk.sun-ip.or.jp URL : http://www.hk.sun-ip.or.jp/izusi-hp/index.htm
公立梁瀬病院	〒669-5197 山東町矢名瀬町900-1番地 TEL079-676-3157 E-mail : yanase@yanase-hp.com URL : http://www.yanase-hp.com/
公立和田山病院	〒669-5252 和田山町竹田2021番地 TEL079-674-2021 E-mail : hptakeda@hk.sun-ip.or.jp

お知らせ

「豊岡病院

院外処方せん発行の年齢幅が広がります」

豊岡病院では、平成16年4月1日より、院外処方せん発行の年齢幅が広がります。

変更後（16年4月1日より）

昭和4年4月2日から平成元年4月1日までにお生まれの方
（平成16年4月1日時点で、15才から74才までの方）

☆新病院では、全ての患者さまが院外処方せんになります。

☆年齢に関わらず、院外処方せんをご希望されるときは、

診療時に申し出ただけければ院外処方せんを発行いたします。

皆様のご理解をよろしくお願いいたします。



【院外処方せんになるまでに…】

薬をお受け取りになる薬局（かかりつけ薬局）は、患者さまのご自宅や職場の近くなど、どこでも選択は自由です。しかし、院外処方せんをはじめて保険薬局（調剤ができる薬局）に持って行かれても、お薬がそろっていないことがあります。

そのようなことがないように、事前に「かかりつけ薬局」をご自身で決めていただき、病院からお渡ししている「お薬の説明書」を持参されれば、院外処方せんになった時に、ご迷惑がかからないようにお薬が準備してもらえます。（ご不明な点がございましたら、病院の薬局窓口か院内の相談コーナーでお聞きください。）

日高
病院

いきいきライフ 支援室

お気軽にご利用ください！

日高病院では、地域の皆様が健康で充実した生活を送るための病院と住民とのネットワークづくりの「窓口」として、15年4月に「いきいきライフ支援室」を設置しています。

業務内容 スタッフ 専任の看護師1名と内科外来兼任看護師（訪問看護担当）3名

- ◎連携窓口 入院される患者さまが退院後も継続療養ができるよう、また、患者さまとご家族が安心して在宅あるいは施設で療養生活ができるよう病棟と協働し、病院と地域が双方から支援する体制を取るための連携窓口となっています。
- ◎訪問看護 自宅で療養される方のための訪問看護を行っています。
- ◎各種相談 患者さまやご家族などの介護・看護・療養相談を行っています。
- ◎健康教育 外来患者さまの健康教育を行っています。

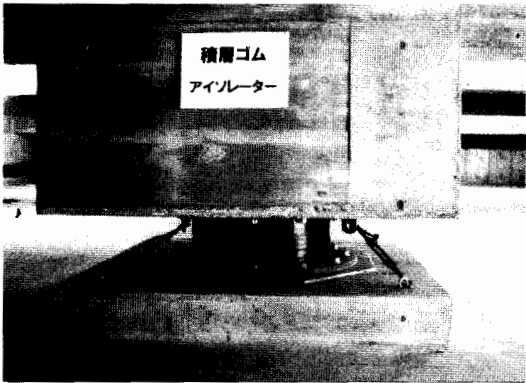
今後も皆様のご意見をお伺いしながら、より良い病院となっていくため、そして地域との連携を図れるように努力してまいりますので、お気軽にご利用ください。

新豊岡病院移転新築整備事業について

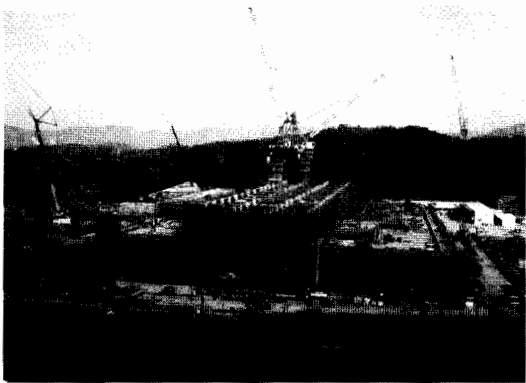
建物や設備の特徴

公立豊岡病院は、災害時にも病院機能を維持し、医療活動拠点となる災害拠点病院として整備しています。被災者の収容場所として中央待合ホールや大会議室には、医療ガス設備を設置し、また、医薬品、水、非常用発電燃料などは3日分を備蓄し、臨時ヘリポートも設置します。

建物の構造の特徴として、免震構造を採用しています。病院機能を大地震から守るために基礎部分に免震層（地震の揺れを吸収する装置）を設置し災害に強い病院にしています。



□ 免震装置（アイソレーター）
全ての柱の下にこの装置が取り付けられています。



□ 1月末現在の工事の進捗状況は約24%です。

医師募集のお知らせ

公立豊岡病院組合では、次のとおり医師を募集しています。お知り合い等がございましたら、是非お勧めくださいますようお願いいたします。ご一報をお待ちいたしております。（ホームページでもお知らせしております。）

- 豊岡病院 総合内科・血液内科・救急部・リハビリテーション科 各1名
- 日高病院 内科 1～2名
- 出石病院 内科または整形外科 1名
- 梁瀬病院 内科 若干名
- 和田山病院 内科 1名
- ☆ 年齢は50歳未満 ☆ 給与・勤務時間等は条例・規則による

〒668-8501 兵庫県豊岡市立野町6番35号
公立豊岡病院組合総務部人事課 TEL 0796-22-6111 (内線251)

編集後記

希望に満ちた2004年を迎え、新豊岡病院の移転工事も最終年次となります。「企業は人なり」という言葉のとおり医療は正に人によって支えられておりますが、新病院という大きな節目を迎えるにあたり、医療を支える人づくり、新病院への期待に応え得る人づくり・組織づくりに心がけなければなりません。今回、アンケート結果の概要をお知らせしましたが、病院をご利用いただく患者さまに高い満足度を持っていただくため、初心に立ち戻って信頼される病院づくりに邁進してまいりたいと考えております。

これからも、当広報紙を通じて、医療情報等を適切にお知らせし、皆様のご期待に添えるよう努力してまいりますので、本年もよろしくお願いたします。（編集委員）

◇発行 公立豊岡病院組合 ◇〒668-8501 豊岡市立野町6番35号 ◇TEL 0796-22-6111(内線413)
◇URL : <http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/> ◇E-mail : kikaku@toyookahp-kumiai.or.jp